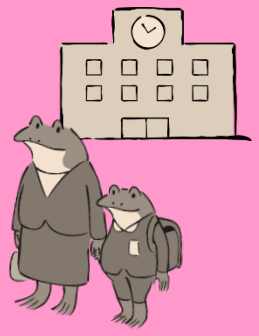
図書館だより ４月号

岡垣サンリーアイ図書館発行　2023.4 №316



オススメの新着図書

【一般向け】

『やさしさを忘れぬうちに』

川口 俊和／著　サンマーク出版

娘に結婚を許してやれなかった父、名前のない子供を抱いた妻…。未来に向かって歩みだすために、過去に戻る４人の勇気の物語。

【一般向け】

『成功と滅亡 乱世の人物日本史』

加来 耕三／著　さくら舎

日本史上最も大きな転換期であった鎌倉、戦国、幕末期。これらの時代に生きた偉人たちはいかに人生を輝かせ、そして散っていたのか。

【児童向け】

『わごむ いえでする』

杉原 やす／作・絵　ひかりのくに

家を飛び出して新しいおうちを探すことにした「わごむ」。猫に襲われたり、三輪車にひかれたり、筋肉お兄さんに引っ張られたりと散々な目に…。

【児童向け】

『ぼうはんクイズえほん』

国崎 信江/監修 ﾄﾞｰﾘｰ/絵 日本図書ｾﾝﾀｰ

登下校や留守番など子どもが犯罪にあうかもしれない場面をクイズ形式で掲載し、自分を守るための方法を解説する。防犯について親子で楽しく考える本。

読書会通信

【2月読書会より】　『組曲虐殺』　井上 ひさし著　集英社

虐げられた人々のために生きた作家小林多喜二の生涯を描いた戯曲。

小林多喜二は同志の伊藤ふじ子と共にプロレタリア文学の旗手となる。執筆や講演を続けるが「蟹工船」など彼の作品は検閲を受け徐々に厳しい状態に。特高警察に追われながらも潜伏先を変え、身を潜めながら暮らす多喜二を、多喜二の姉佐藤チマ、恋人瀧子が応援する。だが次第に警察の手が伸びついに逮捕される時が来る。

現代社会にも通じる様々な怒りを込めた重い内容だが、登場人物の台詞に井上ひさしの持つほのぼのとした笑いがあり、わかりやすい ト書きで、まるで舞台を見ているかのような感覚になった。　〔近藤 美斗恵〕